京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金册錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太郎
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

●農林講習所

京城中部校洞元西北學會跡五星學校内に李逵なる人の經營になる農林講習所あることは曾つて報道したるが其の後の成績を聞くに昨年九月中第一回卒業生百餘名を出し現今は百二十名の生徒を收容授業しつゝあるが同所の生徒地方別は黄海、平安、忠清、京畿、慶尚の各道に亙り年齢も雜多なるが、最年少は十五六歳より四十歳以上のものもある由にて中には所謂苦學生もありて此の内には授業料の納付に堪へず中途退學を申出づるものもありて所長李氏は彼れ等に對し種々便宜を與へて就學せしめつゝあれば其の顏觸れの如き大卒業生、盛岡高等農林學校卒業生等なるも皆無報酬にて教鞭を執りつゝあり講習科目は土壌、肥料、果樹、蔬菜、森林、畜産、作物等にして本年卯年の農業實習場を東大門外に設けて實習をなし果樹園に於ても昨今は寒氣の爲め室内作業即ち農家の副業たる莚叺、繩等の製造練習を成さしめつゝ夜は三時間宛蔬菜學を教授せり此の外日曜の夜は在京報徳會員の經營になる西大門外報徳講習所に於ける農事講演會の總講を聽講し居れるが同講習所生は卒業後は夫れ〳〵日本人農業家に就き實地の經驗を積みたる上各自歸郷して農事經營をなすものなりと云ふ尚は來る三月には第三回の講習生を募集する由なり因に第二回卒業生中の大部分は日本人農事經營者と被雇契約成立せるもの多々あり而して同所の施設は重もに盛岡督顧問たる山口縣實業調查囑託たる式田三氏の指導に依ると云ふ目下同氏は同所の基礎を鞏固にすべく方法に就き苦心しつゝあるが當局者間にありても既に之れが補助の件審議中なりと云ふ

●管理局出張所

朝鮮鐵道管理局にては本期議會に於て總督府豫算通過早々湖南線鐵道の工事を速成すべく計畫を立て愈よ三月末か四月上旬に掛け同線兩端起工の筈にて木浦に鐵道管理局出張所即ち木浦建設部を創立する筈にて既に同部職員等の任命も内定し居るやに傳聞せるが部長は龍山鐵道局在勤の技師伊藤三郎氏にして外高等官二名屬員四十餘名の一行來る四月上旬には赴任の筈なりと云ふ

●湖南鐵道起工期

湖南鐵道の起工期は別項の如く湖南線鐵道木浦建設部の創立を見るは遲くも來る四月上旬なりと云へば同建設部職員一同着任萬事を整理し當港を基點として工事に着手するは來る五六月よりなるべしと云ふ

●官營水道規則（二）

第十九條　計量に依る專用給水料は左の區分に依る
一、工事其他一時の給水、一立方メートル　金十六錢
二、噴水用　金二十五錢
三、公共道路撒水用　金五錢
四、前各號以外の給水　金八錢
量水器定量に達したるものと見做し第一號乃至第四號の場合に於て量水器點檢の都合に依り三十日に過不足あるときは其の定量を日割を以て計算す
一、工業其他一時の給水一回分五立方メートル
二、噴水用、三十日間分三十立方メートル
三、公共道路撒水用、同上
四、前各號以外の給水、五十立方メートル
第二十條　共用給水料は左の區分に依る
一、建坪十五坪迄の家屋、毎戸一月六十錢
前記建坪五坪迄を増す毎に一月金十五錢を加ふ
第二十三條　量水器及給水用具使用料は左の區分に依る
量水器徑十五ミリメートル以下　一月　金三十五錢
同　徑十八ミリメートル以下　一月　金五十錢
同　二十五　同　金八十錢
同　五十　同　金二圓
同　七十五　同　金三圓
同　百　同　金四圓
同　百五十　同　金六圓
給水用具、一月、給水用具費の千分の十五
量水器又は給水用具の使用料は使用期間が一月に滿たざるときも又は給水中止中と雖全月分を徴收す船舶給水用量水器及特に据付を要せざる量水器に對しては使用料を徴收せず（本令四月一日より施行）

外事一束

▲土帝　は山地住民の感情融和の爲めアルバニヤに行幸せん是等住民間頑冥なるも亦土帝に對する忠誠の念あり。
▲内亂　ニカラガ共和國に復々内亂起り叛徒の勢益々猖獗を極め大統領は米國領事館に身を潜めたりとの報達せり。
▲怨亂　墨國々境ブノーの財産家官軍に圍まれ一家悉く慘殺二百萬弗を奪はる
▲賊金　は叛徒所屬の軍用金ならんと。
▲波政　攝政議會に出席し寡頭主義の政治的危險を説き政府は強固なる多數黨援助の下に宣誓を行はんと聲明す。
▲奇明　墺國ビヤナー市にて遠距離寫眞器を發明す此器械は寫眞と共に其距離を現はすを以て非常に評判高し。
▲打消　前報佛國艦隊の失態は砲塔傾き或は破損し若くは砲塔動かず現に演習を中止せるも海軍省は重大視せざる
▲條約　米加互惠條約米國下院を通過す此結果大陸一統の要案を放し英國は遂ひに加奈陀を放棄すべく議長放言す。
▲懸案　露清懸案行惱に就き清國辯明して曰く之が爲に重大問題を惹起する筈なく現に最も圓滿に進行中なりと
▲馬賊　盤龍山に官兵と交戰せる馬賊偵察隊四十名長北門外を襲ひ巡警一名を斃す
▲獨逸　海相海軍豫算を説明し獨逸は毛頭他を攻撃の目的なく只獨逸攻撃の強國を假定し海軍組織を爲すのみと。

召使れ初（二の五）

碧瑠璃園

「旦那樣、れ許しとござります、眞平御免置かせられませ」
裾短き小紋の羽織、鼠色の足袋、糸入縞の布子の襟正しく合せて、奥へずツと通る、椽端の膳部は取り除けられて、後に殘る酒の香り物淋しく、徳兵衛は次の間に兩手つき、
「久しう御意得ませぬ、れ變りもござりませぬか喃」
「家内皆な變りもない、れ身も達者かの」
「れ蔭で持ちまして、此通り健康に暮し居りまする、さて」と改りて「毎度ながら奥樣に手數、衣服迄れ世話下し置かれ、何ともれ禮の申しやうござりませぬ」
「存じの最下手、氣にも入るまい、ぢやが懸命に骨折り、急ぎの物は夜仕事かけても間に合する、遠慮なく持たせ遣はせ」と佐五右衛門は笑顔なり、庭の櫻にうら〳〵と暮影さして、この美しき構の面に映るかと心快かりき
「何とも恐れ入つたことでござります、誰もろう、大和郡山の御城主本多樣之助樣御家老をも勤めさせたれ身が、時世なればこそ町人の私風情へ、直々れ詞をれ掛け下さるさへござりますに、私共から折入つて願ふべき事共、旦那樣から頼しなされ詞、勿体無うて身も硬くなるやうに心得まする」
「もう夫を云ふな、何も時世ぢや、折柄花も滿開、唯今遊茶でも入れさせる、兎も角も近う寄じやれ」
「有難うござりますと、徳兵衛は膝行り入て、いかさまにも美しう咲いてござりまする私共の庭に咲きまするとは違ふて、れ屋敷に咲きまする花は、自然と欲氣がござりませぬ喃、艶を吹く風も自然に輕う、願うして消しいやうに思はれます」
「願うも無いが、この花はちよと自慢ぢや、これは大和芳野山の櫻と同じで喃」
「花は山櫻に限りまするな」
「やはり一癖に氣品がある、人も飾り過ぎたるは良くないものぢや」
「御意にござりまするど、徳兵衛は庭の寂、家の構、座敷の調度の物寂しきを見遣りながら「名利を他所の御住居、何さもれ羨ましいことでござります、旦那樣れ身の上に比べますると、私などは宛然餓鬼でござります」
「これで米さへあればのう」
「旦那樣の御高德が、やがて財を呼ぶでござります」と云ひながら次の間を見返つて、「奥樣、何れにれ越しでござります」
「茶でも入れて居ると見ゆる」と佐五右衛門は機嫌克く、「これよ、居ないかよ」
れ力は果して茶の用意なりき、番茶の香り好きを天目茶碗に載せて、恭々しく運び出る
「これは奥樣、御雜作を掛けて澄みませぬ、あなた樣へ少々れ願ひの筋もござりまして」、云ふより懷中を探りて、取り出したる小さき紙包の物なりされ土産、紀念まで、た機嫌へ獻上致します」
「何かは知らぬが心懸けさせて、徳兵衛殿、有難い幸福に存じまする、あなた樣の御殿られ遣へれ上げを下されてござります」
れ力は紙包を押し戴き、ぼつとりと重けれど、實金にてはあるまじく、さりとて布裂の樣にも無く手障りの硬かりき

東京電報（二十日）

▲恩賜金使途定る 恩賜金處分案は略定り明二十三日閣議を開きて決定後兩院議員、實業家に發表して協議する筈なり

▲戴冠式參列者 昨日東伏見宮邸に於て英皇戴冠式參列者一同會合して諸般の打合を爲たり

▲恩賜金と國民黨 本日正午院內に開會せられたる國民黨代議士會は先づ藤田又一氏より各派交渉會に於ける討議の顛末報告したる後、施藥、救療の恩賜金の外に國庫より一千萬圓支出の建議案は尚充分聖旨に添ひ奉るべき方法を講じて提出すべく今暫く見合す事に決したり

▲本日の貴族院 貴族院定例會議は一般の報告後日程に入り政府委員の說明其他二三の問答あり惰氣滿々の中に日程を了り請願の件に入り三十六件の採否を議し散會せり

▲恩給法改正可決 臺灣總督府稅務吏も府廳吏同樣官吏恩給法を適用する法案即ち官吏恩給法案中改正案は十八日衆議院委員會に於て決せられたり

▲政友會脫會者 仲裁者ありて一時脫會を思ひ止まりたる政友會所屬代議士法學博士鵜澤聰明氏は政友會の橫暴に憤慨し再び脫會屆を出して脫會したり、又小川平吉氏も會同脫會の意思ありと傳へらる

▲防疫醫員助手募集 關東都督府は防疫醫員の助手を募集す

▲淸人退去命令 浦鹽の露國官憲は同地に在る無職淸國人四十名に對して退去を命じたり

▲橋頭暴行事件 過般橋頭に於て日本警察署に屈備せる支那巡捕が一暴漢を引致する際露國巡捕が之れに對し暴行を加へ且つ日本警察官に對しても暴行を加へ遂に數名の負傷者を出すに至りたる事件に關し都督府は小池天津總領事を經て抗議を申込みしめたるが該事件は[illegible]不法なる暴行に因るものなるを以て淸國總督に於ては暴行巡捕を懲罰し且つ負傷者に對し相當の賠償金を支出する事となるべく結局該問題は此等條件の下に解決を見るに至るべし

▲東洋丸進水式 東洋汽船會社の新造東洋丸（一萬三千七百噸）は豫定の如く十八日午前十時三十分より長崎三菱造船所に於て進水式を擧行したるが、さしも大なる船體は僅に五分間にて故障なく進水し海上に浮びて一大偉觀を呈したり

▲岩崎博士昇叙 西部鐵道管理局長工學博士岩橋彦松氏逝去に付特旨を以て勳三等に叙し瑞寶章を下賜せられた

▲露國の對淸態度 伯林電報（二十日） 露國政府は覺書を發表し千八百八十一年露淸條約に關して淸國の義務を算へ若し淸國にて此の義務の一ケ條たりとも違反する時は淸國の不信なる行爲に對して露國は相當の方法を執るべしと宣明せりノウオーエウレミヤは此の覺書は淸國に對する最後の通牒を意味するものなりとし若し淸國にして此際反省せざれば斷然最後の通牒を發すべしと云ひフーロスエャーウエンドモンド新聞は此の覺書は王者の平和を鞏固にせらる用に供せられたるものなりとし其の希望を述べたりウレミヤ新聞は此覺書は露國はクルジャーを再び占領せんとする確證なりと言明したり

▲羅馬法王輕快 羅馬法王の容體は快方に趣き又、牧師ルシヘナは流行性感冒に罹りたり

●機密費豫算 朝報 來年度に於ける總督府所屬官署の機密費豫算を聞くに左の如し

一金二十萬圓 總督府機密費
一金五萬圓 警務總監部同上
一金二萬圓 裁判所同上

●司法官會議決定 既報朝鮮總督府司法官會議は愈々來る三月十日より總督府司法部に於て開會する事に決定し此程司法部長官より高等法院長以下夫れ〳〵召集案內を發したるが今其の出席すべき人名は左の如し

高等法院長渡邊暢、同檢事長國分三亥、京城控訴院長[illegible]數馬、同檢事長[illegible]、大邱控訴院長永島巖、同檢事長土井庸太郎、京城地方裁判所長黑川穰、同檢事正松寺竹雄、[illegible]柳澤佐五郎、咸興地方裁判所長[illegible]孝慈、同檢事正大村大代、平壤地方裁判所長瀧野鉞太郎、同檢事正[illegible]、大邱地方裁判所長辻秀春、同檢事正北村五七郎、光州地方裁判所長青木幹造、大邱地方裁判所長鳥山虎也太、[illegible]雄文郎、同檢事正關口半、[illegible]芋川正義、同山田虎治郎、同井上信之助、同三井久陽、同松村[illegible]

因に本會議は約一週間の豫定にして其の第一日は寺內總督の諮問事項第二日は司法部提出諸問事項の整理及び協議を遂げ夫れより各提出の法令規則に就て討議終りて本年四月司法省に開かるべき司法官會議に提出すべき事項等に就て協議するにありと云ふ

●寺內總督の快癒 先日來感冒の爲め引籠中なりし寺內總督の病狀は既に去十七日付にて兒玉秘書官より或る向への書信に依れば總督は病氣全快翌日より議會に出席すべしと申越したりと

●度量衡法實施講話 京畿道に於ける度量衡法未施行の地方全部に對しては來四月一日より彌施行の事となりしが右に付き農商工部に於ては囑託深田千太郎氏を特派し同各地方にて度量衡法實施上の講話を開演せしめ郡守面長洞長警察官等を始め其他一般人民の度量衡に關する智識を開發すべき筈にて廿一日より擧行の事となれり偖は其講話日割は左の如し

△二月廿一日水原（講話地名以下同）△廿三日南陽△廿五日平澤△廿七日安城△三月一日龍院△三日驪州△五日利川△七日楊根△九日加平△十一日抱川△十五日漣川△十八日汶山△二十日開城△二十三日廣州△二十六日楊州△二十九日永登浦△三十一日金浦△四月二日江華△四日仁川

●五稅と成績考 朝鮮に於ける租稅中各道に亘り一般的に徵收せられ居るものは地稅戶稅及家屋稅酒稅煙草稅の五稅なるが今其徵收成績を等級に定め各道別に表するに左の如し

道別	地稅	戶稅	家屋	酒	煙草
京畿	一〇	一二	一三	一三	一三
忠北	七	三	二	二	四
忠南	九	七	九	六	八
全北	八	九	八	五	七
全南	五	一三	二	二	九
慶北	三	一一	一二	九	五
慶南	二	五	一〇	一一	一
黃海	四	一〇	五	一〇	一〇
江原	一一	八	四	七	三
平南	一	二	一	八	六
平北	一二	一	六	一	一二
咸南	六	四	一	三	二
咸北	一三	六	三	四	一二

則ち以上は徵收の實績に鑑み之を等級順位に定め其優劣を示したるものなるが何れの稅種に於ても成績不良なるものは京畿道なり又之に依りて各稅と地方民との關係一班を窺知し得べけんか

●市區改正建議案 京城民團管內に於ける市區改正の必要は殆んど一般的輿論なるが元來民團行政區域は元統監府令を以て城內一圓及城外何々の地を規定しありて必ずしも一局部の南山麓下を指せるに非ず而して選般居留民の叫べる本町通市區改正の如きも大に其必要を認むるも既に民團行政區域以上の如しとすれば宜しく眼を大局の整理に注がざるべからずと唱へ議員高橋章之助氏は數名の贊成を得て來る二十三日の民會に左の意味の建議案を提出する筈なり

一、總督府內に京城市區改正事務局を新設し總督直轄の下に總督府員民團役所員民團議員を以て組織す
一、市區改正事業は先施設の大方針を定め道路河川公園宮殿官衙學校市場劇場等の位置を豫定し五箇年繼續事業として緩急に應じ之が竣成を期す
一、經費は國庫支辨として其額一千萬圓とす
一、竣成後は之を自治團体に引繼ぎ其維持經營を爲さしむるものとす

●土地收用法制定 朝鮮には未だ土地收用法の制定なく之が爲めに支障を釀したる一例は近く南大門外街路擴張に際し賣買價格不調の爲め今に行惱み居れるが如きは其著しきものなり而して舊韓國政府時代に在ては或る土地收用の必要を生じたる時は內部大臣より臨時的告示を發し當分其賣買讓與若くは質權の設定を禁止したるも何等の效果なく一定豫算の範圍にては往々目的遂行し難きに鑑み今回總督府に於ては這般の必要に應ずべき土地收用法を制定し近々發布すべし

●流行病地の視察 仁川府德積面鎭里外四里に於ては傳染病流行し居るとの報に接し仁川警察署の門前巡査は永登浦の小田警察醫と共に去る十二日同地に出張し嚴しく臨檢したる處同所の友浦統統戶不明李應春（三二）は客年十一月廿日發病以來家族三名引續發病せしより同里各戶に渉り三十七名の患者となり其他小也洞に十五名を生ずるに至れり小田警察醫の診療の結果は重にパラ窒扶斯患者にしてペストには非ずと判明せしも之れが豫防法としては各戶に十分なる消毒法を行ひ十九日引上げたりと

●北里博士歡迎會 廿四日來京の北里博士歡迎會は明石總長藤田總督府醫院々長の發起にて廿五日午後四時半京城ホテルに於て催さるゝ筈なるが出席者は各官衙の主なる高等官、朝鮮貴族、軍師團軍醫部、民長、民團議員、市醫師、憲兵司令部、總監部高官其の他新聞記者等百餘名にして、同博士は席上にて滿洲ペスト視察談を試みらるゝ筈なり因に出席希望者は中野警視及松村副官迄申込まるべしと

●北里博士消息 北里博士は旅程を變更して來る廿四日朝新義州發同夜十時廿分南大門に着し天眞樓に投宿し廿五日の歡迎會に臨み翌廿六日朝九時南大門發列車にて歸京せらるゝ筈也

●貨幣發行高週報 二月十二日より十八日に至る貨幣發行高左の如し

銀行券總發行平均高	一九、一三四、五四三
內	
正貨準備發行平均高	六、五八七、八九三
保證準備發行平均高	一二、五四六、六五〇
硬貨發行高（一月十八日現在）	七、九二二、四九〇
內	
金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
〃 十圓	五〇〇、〇〇〇
〃 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五十錢	一、二八五、〇〇〇
〃 二十錢	一、八九〇、〇〇〇
〃 十錢	一、八一五、〇〇〇
白銅貨五錢	五五三、二五〇
靑銅貨一錢	三四三、二〇〇
〃 五厘	八六、〇四〇

韓銀株の眞相（一）

本紙は前號に於て韓銀株の眞相を記せんことを約す思ふに同株の眞相を記せんとせば順序として其本體たる韓銀の實狀を記することを要す韓銀株如何にしても離して見るべきものの非ざるを以てなり

▲**韓銀の實狀**を知らんとせば何を措いてもまづ第一に四十三年十二月三十一日現在同行第三期貸借對照表を見るを要す同行の資本は何人も知る如く一千萬圓にして拂込は二百五十萬圓なり而るに此拂込金が如何に使用されつゝありやと云ふに該表資產の部に示せるが如く中百九十五萬圓は營業所用の地所建物其他什器等に化し殘り五十五万圓が運轉資本として存するなり而るに同表負債の部に於ける

▲**銀行券發行高**は幾許なるやと云ふに开は二千十六萬三千九百圓なり此發行高に對し同行が同行條例に因る正當なる準備を爲すに於ては金貨地金銀日銀兌換券國債證券其他を合せて發行高同額の準備を有するを要す而るに實際は如何と云ふに前にも記せるが如く同行現在の運轉資本乃ち準備として得べき資本は僅かに五十五萬圓にして換言すれば同行は

▲**五十五萬圓**の準備を有するのみにして實に二千十六万圓餘の銀行券を發行し居るなり二千萬以上の發行に對する五十五万の準備とは條例の許すところに非ずされば其餘の準備は如何にして埋め居るやと云ふに开は諸預金政府貸下金及び他店よりの借入等を以て居るなり嗚呼嘗ては韓國の中央銀行にして今も尚朝鮮の中央銀行なる韓銀が

▲**借金を仕拂準備**として銀行券を發行し居るとは何人も信ずる能はざる言語同斷の事實にして決して看過すべからざるなり而るに

▲**韓國政府時代**に在つては同行に對する政府の預金及貸下金等も種々の關係上問題とならざりしが併合後の今日に於ては**國庫の統一**、**租稅取扱の變更**及び朝鮮**特別會計**の都合上政府は來る三月を以て韓銀に向かつて貸幣整理資金七百萬圓を返濟すると同時に韓銀に對する從來の貸下金及び預金等を整理せざるべからず茲に於てか元來僅々五十五萬圓の外他は借金を以て準備を濟ましつゝ來りたる韓銀は整理に應ずるの必要上他の明案の有るべくもあらず無餘儀も**第二回拂込**を決するに到れるなり韓銀第二回の拂込は前記の理由に因る故に之を世間他の會社銀行が事業擴張の必要上爲さしむるところの第二回拂込と同一視すべからざるは勿論なり

增資後の漢銀 ―臨時株主總會―

去月十五日の臨時株主總會に於て一大增資を決行したる漢城銀行其後の營業狀況を聞くに元來增資といふも其拂込みは恩賜公債を充當せるものなれば實質に於ては依然舊態其儘にして却つて大男總身に智惠が廻はり兼ぬるが狀に在り現に營業一斑の事實に見るも之が爲めに何等擴張されしを見ざるが如し而して該增資決定後直ちに其筋へ定款變更の認可を申請し一月二十三日認可の指令達せらるゝと共に拂込を催告し翌二十四日全部之を了したれば更に公債證書の記名除却申請書を提出し是亦直ちに認可せられたり依て同行にては該公債を無記名に引換ふべく日本銀行代理店を經て日銀本店に請求中なるが兩三日中に到達すべく既に案內に接したりと今拂込顚末及申込株に對する割當決定の報告並に監査役一名の補欠選擧を兼ね十八日午後一時より鍾路商業會議所樓上に於て臨時株主總會を開催せり出席者は新舊株を合せて八十九名にして專務取締役韓相龍氏以上の事實を詳細報告し更に立會官吏藤原度支部書記官より「今回當行の增資を認可せるも其拂込は恩賜公債なれば金融上多少の不便あるを免れざるべし然ればとて漫りに功利を急ぎ該公債を一時に放賣し、亂發なる貸付を爲すが如き事あらば經濟界の爲め洵に慮る可き影響を釀出すべきを以て充分注意を望む」旨訓示する處あり終つて補缺監査役に子爵閔泳徽氏を擧げ散會せる由尚同行增資株四万五千株に對する申込は十五萬五千八百四十株にして三倍〇八に達せり依て按分割當を以て四萬七千九百六十三株を決定し不足の三千七株は重役之を處分せりと云ふ

●朝鮮商業銀行 元天一銀行改稱及本町出張所新設披露の宴は如已報十九日午後六時花月樓に於て開催せられ會者は各銀行會社實業家等の重なる人々四十餘名にして席定まるや諸山同行支配人の挨拶あり續て來賓總代岩佐東拓理事の謝辭あり各歡を盡して散會したるは午後十時なりし

●民團立火葬場新築 京城民團立火葬場新築に就ては豫て理事者が專ら調査設計中のところ全く結了せるに付き彌來廿八日午前十一時を以て右工事を公入札に附する筈なるが新築地點は豫て報道の如く南大門外西署[illegible]田契萬里峴にして其設計は內地に於て頗る完全と稱せられ居る火葬場の上これを參稽としたるよしなれば申分なき完全のものなれば言ふまでもなく從つて少からぬ豫算を投ずる筈なり構內の坪數も頗る宏大にして燒香場を始め特等待合室、番人室、普通待合室の各棟あり死体燒上げ竈は十一個を備へ其上屋なども立派に兩圍には鐵門及び鐵柵を繞造する設計なりと尚は入札結了と同時に工事着手の豫定なれば來三月末頃まで竣成するに到るべしと

●隈本學務課長轉任 朝鮮總督府事務官學務課長隈本繁吉氏は今般臺灣總督府國語學校長兼視學官に任せられ本月末出發渡臺する筈なりと

●安東檢事の送別會 仁川區裁判所の安東檢事は此程大邱區裁判所に轉勤に付仁川クラブ會員一同發起となり廿二日午後六時より仁川クラブに於て送別會を催す由申込は何人も隨意なりと

●兩新署長送別會 總監部付谷川、橋本兩警視は署長に新任せられ近々夫れ〳〵赴任するに依り重なる警官諸氏は廿日翠樓に於て兩署長を招待して送別會を開く由なり

▲治外法權▼

過日も一寸書いたが我國の學者達が大和魂や武士道の講釋をして得意がつて居た間は實に無邪氣で良かつた、併し此頃では何の必要からか知らぬがアノ大ソレた南北朝の正閏論を始めた▲南北朝の正閏論、开を明治になつて皮切りをしたのが頑固黨の大將丸山作樂であつた、作樂は南朝一天張り、右に就いて隨分過激な議論を試みたものだ▲明治の初めに於て福澤諭吉は南朝の忠臣楠正成の湊川に於ける討死を權助のブランコ往生と同樣だと論じた、斯は甚だ極端であつたが、併し福澤は當時世人から餘りに非難を受けずして濟んだ▲今や學者南北朝の正閏を論じ其の餘波延いて正成、義貞、尊氏に及ぶ、正成、義貞、忠か尊氏逆か、論ずる者各種なる根據あつて論ずるか▲記者は大日本史の產地水戶の生れであるのだ、記者の祖先の中には大日本史編纂の事業に關係した者もあるのだ、故に幼にして大日本史を繙き先入主となつて南朝正統說を信ずることゝなつた▲茲に稽ふべきは義公大日本史編纂の目的が何であつたかであるのだ、支那の春秋、義公の大日本史共に一の史論であつて決して歷史ではないのだ、史論と歷史之を同一視するのが今の學者達の誤りであるのだ▲時世が變れば人心も變る義公が春秋的史論を試みたのは義公より勤王に出て其因を朱子學に起し而して明の亡命者にして[illegible]論者たる舜水に負ふところがあつたのであるのだ、夫之を知らずして今の學者達が大日本史を單純に歷史視し論據を之に求めて南北朝正閏論を試むるなどは狂の極であるのだ▲流石に德川家康は偉らい、彼れは自家の血統を新田足利兩家の孫とヤツた、兩家の孫とあればドッチへ轉んでも間違はないのだ、今の正閏論に熱するの輩の[illegible]及ばざることこそ實に[illegible]と云ふべしであるのだ▲按ずるに南朝の御用記者は南朝に都合良き記錄を作り、北朝の御用記者は北朝に都合良き記錄を作くつたのに違ひない、而して新井白石の史論は材を北朝の記錄に採り義公の史論は材を南朝の記錄に採つたものだ、嗚呼御用記錄开が偏すべきは素より當然の事だ、而るに今の時代に此偏せる材料を基とせる史論を根として正閏論を戰はすとは學者と云ふ者の間拔け加減を證明して餘りありと云ふべしであるのだ▲南北朝孰れを問はず神武大帝の御子孫であるのだ、大帝の御血統と大統とは離るべからざるもので、あつて世々相繼ぎ以て今日に到り尚無窮に續かんとして居るのだ、茲に於て國民道德若しくは倫理上の必要を口實として正閏を判別せんと試むるが如きは蓋し有害無用の業であるのだ。

▲仁川港の出入船舶▼

▲信濃川丸 廿一日大阪より入港
▲獨逸船 同 上海より入港
▲顧州丸 同 唐津へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 十九日の分
乘車客 六一三 下車客 六六四
乘車賃金 一五一四、一四

▲南大門驛荷扱高 十九日の分
發送 一一八噸 到着 二〇三噸
貨物賃金 九三五、六〇

▲龍山驛乘降客 十九日の分
乘車客 二二七 下車客 二〇〇
乘車賃金 三七二、一四

▲龍山驛物扱高 十九日の分
發送 八噸 到着 九五噸
貨物賃金 四六〇、四三

▲京城手形交換高▼

二月	金額	枚數
二十日	六五、六二三、八九	二七七

●叙任及辭令

李王職事務官 鮎川 新

七日左の如く交迭わりたり

總監部庶務課勤務 橋本 秀平
補釜山警察署長 釜山警察署長 市川 信[illegible]
補鎭南浦警察署長 谷川金一郎

●古城民政[illegible]

相場電報（京城本町西村支店着電）

▲大阪株式（前場）
京阪同 六四、九〇〇 六四、九〇〇
大阪電燈同 六八、六〇〇 六八、五〇〇
紡績同 六八、九〇〇 六八、九〇〇
▲（後場）
電燈同 不明 一〇九、五〇〇

▲大阪期米
大阪同 一三一、八〇〇 一三〇、八〇〇
株式同 一三〇、四〇〇 一三一、二〇〇
鐘紡同 一二九、三〇〇 一二九、八〇〇
取引同 [illegible]

寄十五圓七錢▲止七錢▲三月寄十八錢▲止二十一錢▲四月寄三十三錢▲止三十五錢
圓九十五錢▲最高同上▲最低九十三錢▲止同上▲四月寄七十三錢▲最高八十一錢▲最低七十三錢▲止八十一錢
一圓十三錢

活動寫眞　覆面子

●朝の南大門驛　二十一日、探險番組を踏めば霜、憂々板橋を踐めば霜、朝鮮南山の峠より飛んで北漢に至るか、遙かに夢を仰げば片雲晴れて紫色鮮かなり、朝光匂ふが如く次第に明らかにして沈靜なる夜の幌は全く消へ去つて淸淨の空氣に呼吸は爽かである。

●紫色の郵便車、チゲを叱して大道を北に馳す一塵の沙烟つゝ飛んで反對に一輛の自轉車は南に消へた。

●停車場の廣場は平坦に朝光を浴びて淡く水蒸氣が立つ。旅客は來る、漸々、待合室の甲乙二等は滿員で、憂色滿つるか、弱氣なく生氣なく。

●不景氣風は、京城を吹き捲くつて沈滯なる狀態である。

●漁業會社設立委員山崎某、今正に列車に投せんとして來る。

●二三の官人彼れを送る　不景氣の京城、彼れ來つて果して如何の感ありや。京城ホテルの增田とか、旭旅館の加藤とか、

午前九時、同九時十分、の南北兩行の列車は、僅少の乘客を拉して發す。ポイントメンは遙かに寒風に立ちて、最後の廢車板、風雨に曝らされて朽ちんとする。

●電車を捨て、橫街に入る、一臺の擔架　白布を覆ひ病人を載せて過ぐる、烏鴉鳴くも之れ何の兆である太平か。……悲痛、胸を捷して獨り暗淚を飲んだ。

●日の出樓主の公判　中の新地元日の出樓主廣島縣人增木鹿之助に係る公文書僞造行使事件は豫審終決公判に附せられし事既報の如くなるが二十日京城地方法院刑事部法廷に於て大族裁判長擔當事の係りにて公判開廷せられ被告は悄然として法廷に立ち被告辯護人として岡田、大久保の兩辯護士出廷被告の要求其他二十餘人の傍聽人あり裁判長は事實の審問を初め被告は犯罪を否認せり證據調に移り岡田辯護士より鮎場さくの仁川松山樓主及鮎場政吉後藤かねを證人として喚問し政吉ヶ被告と討審せられん事を申請し大久保辯護士より中の新地梅の家樓主野村某を證人として倒は相當口入屋業者をして鮎場さくのか娼妓としての價値及年齡を鑑定せしめらん事を申請し兩角檢事は全然必要なしとの意見を述べ裁判長は該申請は之を却下し被告は森さんが云々と不得要領の申立を爲し裁判長の一喝を受く辯論に移り兩角檢事は儼然たる體にて論告して曰く本件被告の犯罪に付ては多少酌量す可き點ありしが被告は犯罪事實を否認し殊に犯罪の性質が公文書僞造教唆及行使事件にて社會が最も忌む可き犯罪なれば之を處罰して酌量する點もなしとて懲役一年の求刑あり辯護人は交々無罪を主張し言渡は次回開廷日に宣告す可しと閉廷したり

●仁川　失戀の自殺　原籍和歌山縣東牟婁郡新宮町當時仁川寺町二丁目洗濯屋安一こと三方食客古瀨四郎藏(二五)が去る十八日京町二丁目松亭事亭福松島五市方の二階四疊半に於て酌婦の隙を窺ひ頓てクロムサン服用自殺を遂げたるが原因は同樓の藝妓都こと夫婦約束までなしたるに此の頃に至り都が自分を袖にするを怨みてなりと

●篤行者表彰　元龍山鐵道構內に付すと稱したる佐藤貞三郎は昨年末漢江坊普光里李元浩方火災の際隣家李宗任方へ延燒せんとする刹那單身病床に伸吟せる老婦を救助し且消防に盡力したる廉に依り警務總長より賞狀及賞金を龍山憲兵分隊宛に下附したるも本人目下の住所不明なるより同隊にては其處分に苦しみこの事なれば本人は勿論緣故ある者は速かに申出づる方可なるべし

●各署の鼠買上數　十九日各署捕鼠買上數西大門分署二八九東大門分署二八八南部署二八三水門洞分署二五三龍山警察署二一七北部署一九三銅峴分署一三四龍山憲兵分隊二八匹

●仁川鼠買上高　十八日百三十一頭十九日百五十一頭なり

龍山　化物屋敷探險（中）

十七日夜十一時より

杉浦昇月君から此の探險の勸誘を受けたのは十七日の午前中で、強制的に下讀せしめられたのは其の日の夜の十時過ぎであつた。

此の探險隊なるものゝ中心は無論南雲神刀館主にあるのだが隊員は悉く印刷局員で十五日どかゝら局內有志？が交代探險に從事することゝなつたのであるとか、僕が同行の勸誘を受けた際の條件は同行者の何人たるを問はず絕對に銃器、刀劍を携へざる事と云のふである、と云ふのは夫れまでは各自帶劍したと云ふ事を聞いたからで、僕は化より其の刀の方が恐ろしく感じられたからである、

龍山大島町なる神選館の道場に勢を揃へて午後十一時三十分と云ふに立ち出づる、正光君は定紋附たる馬乘提灯を右手に提げ、黑色の毛布上から兵兒帶きりゝと引き締め眞光驪二枚を左の肩に打ち掛け破つた丹前のけて打ち立つたり、第二番手は斯く云ふ僕、スコ古の二重外套、中折帽の上より頭巾を被り外套のハチ引き締めて出立つ、殿陣は即ち市川弓糸君、手拭取つて頬冠り、大風呂敷には蒲團を包みエンヤラヤッとの掛聲勇ましく、イト重相に引き負ひて、大和コタツを兩の手に引き抱へ（昨日挿畫參照）ヨタ〳〵然も扮裝たる恰も獨身者の夜逃げを見るが如く何處から見ても化物退治隊の隨一人とは請け取るものは非ざるべし、若し僕が化者から此の男からして先へ退治の必要があるらしく思へたのである。

閑話休題、イザと出で立たんとす、南雲君の內君急ぎ壁に掛けたる三尺餘りの木刀を執つて拙者に附與して曰く「此れをた持ちなさい」と取つて暗中に打ち振ふ、颯々として大風の響を行くが如く、勇氣百倍して先頭に立つた、此の夜月白くして風寒し、巍然として峙だつ李址鎔氏別邸の雄姿を仰ぎ石磴を登りて警察署たりし廢屋を迂回して後庭に出づれば訪ふ人絕へし道は荒草に埋れて雨庭の綫樹は參差として枝を交へて居る、更らに屈曲せる危げな石段を踏んで登ること十五六階にして即て其の家に達した、玲瓏名鏡の如き月下に立ちて俯瞰すれば結氷未だ全く解げやらぬ漢江の流れ恰さして白玉を展べた如きものがある、巨蛇の如く江を橫ぎるものは彼の鐵橋、發電所の煤烟は油を出づ雲の如く大空に漲て居る、彼方に近く珊瑚の玉を綴れるが如きものは龍山停車場である、恍惚として畫の如き景に見入つて居る耳に近く人の跫

音物盤が閉ねる、シャ御參それ木刀取り直してイザと云はゞ唯一擊と身を斜めに礎下を睨めば雲突く許りの大男三人孰れも防寒外套ヶ纏ふて來り近くのである、我れと同じく散寄者か、或は噂の化性の物か「誰何ッ」と詰つた僕の聲は今に於て明白に白狀すれば確かに顫へて居たのは事實だ「アゝ僕等ですよ」と頭巾ヶ脫られたのを見るさ物好きな龍山署詰の查公であつた、帽章燦として月光に鮮かだ、之れを見た僕は又強くなつた、さア山猫でも川獺でもドンと來いだ。

座禪和讃

勅諡神機獨妙正宗國師　白隱和尚選述

衆生本來佛なり　水と氷の如くにて　水を離れて氷なく　衆生の外に佛なし　衆生近きを不知して　遠く求むる果敢さよ　譬へば水の中に居て　渴を叫ぶが如くなり　長者の家の子となりて　貧里に迷ふに異ならず　六趣輪廻の因緣は　己が愚痴の闇路なり　闇路に闇路を踏みそへて　いつか生死を離るべき　夫れ摩訶衍の禪定は　稱歎するに餘りあり　布施や持戒の諸波羅密　念佛懺悔修行等　其品多き諸善行　皆この中に歸するなり　一座の功をなす人も　積し無量の罪滅ぶ　惡趣何處にありぬべき　淨土即ち遠からず　辱なくも此法を　一度耳にふるゝ時　讃歎隨喜する人は　福を得る事限りなし　況や自ら回向して　直に自性を證すれば　自性即ち無性にて　既に戲論を離れたり　因果一如の門開け　無二無三の道直し　無相の相を相として　行くも歸るも余所ならず　無念の念を念として　謠ふも舞ふも法の聲　三昧無碍の空濶く　四智圓明の月冴えん　此時何をか求むべき　寂滅現前する故に　當所即ち蓮華國　此身即ち佛なり

明治四十二年一月　於韓國漢城　牧雲印施

●嬰子の死体遺棄　仁川柳町朝鮮人墓地に嬰子の死体あるを巡回中の巡査が發見し早速本署よりは久木田警察醫出張檢視したる處死後廿日以上を經過せし者にて頭髮脫落し頭部は曲折左胸部に凹所を生じ腿及臀部は犬に喰はれ居り死因不明なれども衣類は支那服なれば支那人の所爲ならんと死体は仁川面請所に引渡し假埋葬せり

●無情か有情か　龍山南部長芝坊西氷庫二契三統金在彥(二八)方敷地內に十五日夜昨冬生れの朝鮮幼女一人遺棄しあるを官廳地憲兵分隊に屆出で夫々取調べたるも遺棄者不明なるより附近の酒商

徐德成、承諾を求め同人妻文(四三)に暫時扶養を托したりと

●竊盜　西部貞洞培材學堂宣敎師米國人ウレッペー氏方に十八日夜宣教師服一着外二點の盜難屆ありたるより西部署刑事は極力犯人搜査中の處同宣敎師方に出入する信者李允元(三二)が竊取し居る事判明し被告人を本署に引致贓品は被害者に還付せしが宣敎師も信者が竊取せしとて驚きたりと

●拘引　仁川花村洞五統の三千訓(一五)は京町通り某商店々前に於て內洞十統の二孫星七方宿泊の李德文所持金三十六圓入の財布同店に遺失したるを拾得隱匿せし件に付十八日拘引せられたるも右の金は直に本人に返却せりと

●拘留　滋賀縣神崎郡八日市廿一番地當時御成町中根勘次郎(三五)は二十日午前三時頃何處で飲んだか西小門通り街路を徘徊し通行人に暴言を吐き中部塔洞四十一統七戶車夫輪外一名に喧嘩を仕掛け西大門分署に引致され拘留四日に處せらる

●自殺　中部貞善坊水川洞九十一統十一戶鄭○永妾濟姓女(二二)は十九日午後二時自宅內房に於て毒藥を飲み自殺を謀り死に至らず苦悶中家人に發見せられしが原因は精神に異狀を生せし爲めなりと

●演藝だより

●京城座　好評ある兄弟義團廿一日の藝題は有名なる軍人劇「勇壯芳艶サーベル」の通しにて星少佐の遺兒猛は先夜巳が罪にて正弘に扮し喝采を博せし子役小池署美男演する由にて尙重なる配役は大東旅團長（岩村）野村陸軍中尉（花房）星未亡人龍子（堀江）田藤啓之助吉井少佐（谷）馬丁勇助（松澤）星女中民（塚本）合羅玉枝（糸枝）西森仙吉（藤澤）長島義之助、三好參謀長（小泉）藤村憲兵大尉（江見）星少佐一子猛（小池）

●歌舞伎座　好人氣なる男女合併劇廿一日の替狂言は前「佐野鹿十郎」七幕大切「神靈矢口の渡頓兵衛內」一幕にして重なる役割は左の如し

奴鹿藏實は鹿十郎、下男六藏（正三郎）細川肥後守下女花增（輛可）下男久助、船頭茂作（丸助）浮田氏助、れ舟（淺吉）有原成平、浮田傳五右衛門、頓兵衛（尾之吉）大立七郎右衛門（島十郎）橘左近、杉浦三左衛門（花昇）小事源治、家老倉之進、新田貞宗（鶴二郎）

運勢

二月廿一日舊正月廿三日五黃　壬戌大安成△一白　不利不運の日起業開店轉住旅行婚姻會議裁判に忌む情義俠義に驅られて損失繫累を貽す勿れ△二黑　婚姻集會貸出結社宴會の事に忌む他の行事進んで吉△三碧　間違起り易し中裁命品擇等娯樂券の事注意すべし新事旅行婚禮凶△四綠　不得要領の日起工起業開店旅行婚料裁判委事効無し△五黃　謀事謀議の事酒色及訴事射倖的の行爲を禁す遺失防ぐべし△六白　快欣の日大抵百貨債及衛生注意すべし△七赤　屆入れ共同連帶の事忌む其他進んで吉△八白　婚談遲入れ協同の事に吉旅行新事見合せの事遺失防ぐべし△九紫　旅行轉住に忌む他は進んで吉面接會商條交中裁談議委囑に吉（本町五丁目三一舘料新）

●警察署長交迭　各警察署長は二月十一日……

●諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 ……

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九三九

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

日本の三大賣藥

懷中良藥 兵 ?

梅毒 ?

瓦斯コークス販賣

京城黃金町高等演藝館隣

酒井組

電話一一四九番

●かれこれ迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目藥あり

大學目藥

登錄 商標

大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重ノ製劑にして●流行目●トラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●疲目其他眼病一切に可驚奇效あり

發行所 元 大阪市北濱一丁目 ヘブリ丸 組 參天堂藥房

かぜねつの最良藥

ハカリ印

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 振替口座京城千六十八番十六番

エールリヒ氏案

新梅毒注射藥

右新劑サルバルサン到着本日より隨時注射治療致候(入院隨意)

一月十一日

京城南山町二丁目

松岡醫院

電話六七五番

優等清酒

釀造發賣元

仁川港

吉金酒店

電話七六四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計 米國アンソニア時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計御商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計御小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

大聲發音器

朝鮮 日本 蓄音器 譜譜

各種品揃

音譜目錄無代進呈

地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候

日本蓄音器商會 朝鮮總代理店

歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商

京城本町 辻屋

電話二四八番 振替口座八七番

弊館には夜警の設備有り

眺望の好き事

陸軍指定旅館

鐵道院指定旅館

仁川水產組合指定旅館

第一各保險會社指定旅館なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸

旭屋旅館

電話二五一

本品は貧血症、肺病、其他之に類似せる神經衰弱、消耗性疾患、病後、産後等の恢復期に……

ボビナイン

飲むだけ血になる

ボビナイン

大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓八十錢 ▲送料委細の説明書は無代附呈

横濱市堺町 合資會社友田商店

振替口座東京一九三八番

朝鮮代理店 京城本町郵便局前

山岸天佑堂

振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

寫眞半額

肖像入寫眞ハガキ進呈

本館義御愛顧に依り益々隆盛に赴き候に付此際萬端の設備を改善し熟練なる技師を増聘し最も嶄新なる技術を應用し……

京城本町一丁目(中券番隣)(電話架設中)

金田玉翠館

朝鮮名産

鶴ノ箸

○○○鶴の骨細工種々

鶴の羽細工種々

朝鮮土產品種々

製造發賣元 京城本町三丁目 海市商會 電話二五〇 振替朝鮮四八

特約發賣元 京城本町四丁目 日之出商行 (電話九五六)

特約發賣元 京城本町六丁目 西崎本店 (電話二一〇)

資本金五百萬圓

東京建物株式會社京城派出所

本店 東京日本橋區吳服町一番地

派出所 京城旭町二丁目百十五番戶 電話番號一六八一番

一、土地建物抵當貸附

一、年賦償却建物建築

建築費用は尤も薄利に請負申候又年賦償却金一千圓に對し五ケ年なれば毎月元利金二十三圓七十九錢宛に有之候

今や解氷期に近づき候間直接御申込を乞ふ

喜谷實母散

東京中橋 本家 喜谷市郎右衞門

朝鮮代理店 京城南大門通り 新井藥房

齒科治療

本町六丁目(俗名は横町)

ドクトル 中村安子

女子見習募集委細面談

(電話一五八三)

世帶道具は何でも有り升

外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和鮮ローソク上白シメ油(高)醬油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨卸問屋

京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話百十番 (二カ)又二 振替貯金口座朝鮮七番

文房具 和洋紙 印刷器械 筆墨

シノサキ本店

京城本町一丁目郵便局前

並賣次營業申候

電話六四八番 振替朝鮮一五四番

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒純良 高等牛乳

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャー、ゼルシ、ホルスタインの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の事務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)

龍山本町三丁目 龍山販賣所 (電話二〇二番)

京城光化門通

淺田洋服店

店主 大島齊藏

(電話四百十三番)

東京足袋

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店 東京

京城大和町一丁目(日の出橋際)

大和屋 藤井出張店

電話二百〇五番

酒精アルコール

直輸入元

坂倉支店

(川花町一丁目)(電話六五〇番)(電略サ)

●エールリツヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ

●內科小兒科 外科 花柳病

●入院隨意

京城旭町三丁目

十全病院

電話七三七番

牛乳 其他購求品納入 京城憲兵隊納……

許可 豊本差入所

電話一八三〇

辨當

弊店の特色は叮嚀、精撰、勉强、廉價

御注文の節は弊店看板商標御注意を希ふ

長崎流

○しるこ

○茶碗むし

○むし壽し

出前も致し……

南山町二丁目(南山場上隣)

松その

電話一八五番

今般弊社境內高燥清淨なる衞生地域をトし完全なる病畜舍並治療室を新設し技術鍛錬の專門獸醫を傭聘し汎く大小動物家禽の診療に從事す

入院隨意

弊場種畜牛、豚、山羊、家鷄等繁殖致居候間隨時御來場御購求の程願上候

附屬 京城家畜病院

京城南大門外

韓國畜產株式會社

(電話八八番)

恩給年金 官公債 諸債券 現物 立替 賣買 担保

確實取引月歩五厘

京城中部壽進坊相思洞廿九統七戶 鍾路通り東洋生命保險裏丁博多屋

上州屋支店

電話九百五番

二月中出帆廣告

キ

仁州行

天草丸 十八日、廿二日、廿八日

安來丸 二十日、二十四日、廿八日

漢津富里浦屯串行

三省丸 二十日、廿四日

千葉丸 十八日、廿二日、廿六日

成歡島行

成歡丸 廿日、廿四日

千葉丸 廿六日、廿八日

三省丸 十九日、二十一日

仁川本町四丁目

合資會社 秋田商會船部